

## 法律科目試験 「刑事法系」 問題

I 次の事項について、400字以内で説明しなさい。

- ・横領後の横領

II 次の事例における甲と乙の罪責を論じなさい（特別法違反の点は除く。）。

隣人同士の甲とX（いずれも男、50歳）は、かねてから土地の境界線を巡って対立していた。某日の昼間、Xが甲の自宅に電話を掛けて、この件について相談をしていた際、激しい口論に発展し、遂に殺意を抱いたXは、「これからお前を殺しに行く。」と言って電話を切った。甲は、それまでXから暴力を振るわれたことはなかったものの、Xが過去に暴力団に属していたとの噂を聞いていたことから、Xの言葉を真剣に受け止めたが、警察沙汰にするのは外聞が悪いと考えたため、110番通報して近くの交番の巡査に来てもらうことはせず、護身用に木製バットを準備して待機していた。すると間もなく、玄関の外で「甲、出て来い。」と叫ぶXの声が聞こえたので、甲はバットを持って玄関から戸外に出た。そこに、Xがいきなり殺意を以て金槌で殴り掛かって来たため、甲はバットでXの腕を一発殴って金槌を叩き落した。Xは一瞬怯んだが、すぐ金槌を拾い上げると、再びこれで甲を殴り始めた。その時、甲とXの電話の遣り取りに始まる一連の事態の推移を自分の部屋から窺っていた甲の息子乙（25歳）が、抵抗まならない状況にある甲を助けるために甲宅から飛び出し、Xに体当たりして転倒させたところ、二対一では不利と見て取ったXは退散した。